

# 令和4年度教育研究業績書

氏名 井岡康時

最終学歴	京都大学文学部史学科国史専攻	
取得学位	学士	
所属学会	日本史研究会、全国部落史研究会	
専門分野	日本近代の地域史、部落問題史	
研究課題	奈良・京都・滋賀の近現代の地域史、差別史	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史学演習Ⅰ(七)(八)</li> <li>・史学演習Ⅱ(七)(八)</li> <li>・史料講読Ⅰ(十二)</li> <li>・史料講読Ⅱ(十二)</li> <li>・史料講読Ⅲ(十二)</li> <li>・史料講読Ⅳ(十二)</li> <li>・日本史基礎講義Ⅱ「近現代史における国民と他者」</li> <li>・日本史特殊講義Ⅳ「差別と排除の地域史」</li> <li>・日本史特殊講義Ⅰ「自治と自律の地域史」</li> </ul>
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文献史学特論(六)</li> <li>・文献史学特論(九)</li> </ul>
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	
【研究上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界人権問題研究センタープロジェクトチーム2「共に生きる地域研究の可能性」チームリーダー</li> <li>・同志社大学人文科学研究所「第9研究 歴史学の成り立ちをめぐる基礎的研究—現場と公共性—」に参加</li> <li>・『五條市史』編集委員として奈良県五條市の歴史史料調査を実施</li> <li>・『京田辺市史』執筆メンバーとして京都府京田辺市の歴史史料調査を実施</li> </ul>	
【教育上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史の現場を体験するため、史料を読みながら奈良町を歩いた。コロナ禍に注意しつつ今後も継続の予定</li> <li>・古文書に用いられている「くずし字」の解説塾を実施</li> </ul>	
【社会的活動】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『五條市史』(奈良県)編集委員</li> <li>・『京田辺市史』(京都府)近現代史部会員</li> <li>・世界人権問題研究センター研究員、プロジェクトチーム2リーダー</li> <li>・水平社博物館展示委員</li> <li>・奈良県立同和問題関係史料センター調査研究員</li> <li>・奈良人権部落解放研究所図書刊行編集委員</li> <li>・御所市文化財保護審議会委員</li> <li>・奈良県立大学ユーラシア研究センター客員研究員</li> <li>・講座、研修会等 <ul style="list-style-type: none"> <li>○兵庫県たつの市民民主化推進協議会人権問題研修(2022年4月23日)</li> <li>○滋賀県湖北人権ネットワーク人権研修(2022年6月12日)</li> <li>○奈良県課題別人権教育研修講座(2022年7月19日)</li> <li>○三重県伊賀地区人権学習会(2022年8月30日)</li> <li>○奈良市新規職員人権政策研修(2022年10月17日)</li> <li>○滋賀県甲賀広域職業対策連絡協議会研修(2022年10月21日)</li> <li>○奈良県都市人権教育担当指導主事連絡協議会研修会講師(2022年12月9日)</li> <li>○滋賀県政策研修センター研修(2022年12月23日)</li> <li>○京都府山城地方人権教育行政担当者等研修(2023年1月25日)</li> <li>○滋賀県人権センター研修(2023年2月10日)</li> <li>○奈良県橿原市八木景観まちづくり研究会研修(2023年3月11日)</li> </ul> </li> </ul>	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	人権委員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①『非部落民の部落問題』	共著	2022年11月	解放出版社	「喜田貞吉 一多民族国家認識と部落問題」を執筆(72～91頁)
②『京田辺市史資料編 第三巻 近代・現代資料』	共著	2023年3月	京田辺市	「第二部 大正デモクラシー～昭和戦前期の京田辺—1912年～1945年—」(102～193頁)の執筆と編集
(学術論文)				
①「部落問題の地域的特性—『滋賀の同和事業史』編さんの経験から—」	単著	2022年4月	世界人権問題研究センター『グローブ』109号	部落問題のあらわれ方の地域的な相違について考察した(10～11頁)
②書評『須崎の部落史』	単著	2022年4月	『京都部落問題研究資料センター通信』67号	高知県の被差別部落について述べた『須崎の部落史』の書評(2～5頁)
③書評「全国水平社創立百周年を読む」	単著	2022年7月	『京都部落問題研究資料センター通信』68号	全国水平社創立100年を期して刊行された諸本の書評(4～7頁)
④「奈良市東木辻町の貸座敷経営をめぐる諸課題」	単著	2023年2月	『奈良史学』40号	奈良市東木辻町の貸座敷に関する史料の分析(134～149頁)
(学会発表)				
①「奈良県における水平社運動—その把握の視座をめぐって—」		2022年9月	奈良県立大学ユーラシア研究センター	水平社運動の奈良県における地域的特性について報告
②「近代における地域社会の変化と差別・排除・忌避—滋賀・奈良・京都の事例から考える—」		2023年2月	世界人権問題研究センター	部落問題の特性について、滋賀・奈良・京都を事例に比較検討
(その他)				